

横浜市青葉区民文化センター第2期指定管理者選定評価委員会（第2回） 会議録	
日 時	平成29年8月18日（金） 14時00分～15時55分
開催場所	青葉区役所4階406会議室
出席者 （五十音順）	西田委員長、安彦委員、長塚委員、細谷委員、三村委員（計5名）
欠席者	なし
事務局	功刀地域振興課長、中鉢地域振興課担当係長、津野職員、安西職員
開催形態	一部非公開（傍聴者4人）
議 事	1 指定管理者応募書類及び面接審査（公開） 2 指定候補者の選定（非公開） 3 その他（非公開）
決定事項	青葉区民文化センターの指定候補者を下記のとおり選定し、青葉区長に報告する。 <b>【指定候補者】</b> 東急コミュニティー・神奈川共立・横浜市民施設協会 共同事業体 <b>【次点候補者】</b> なし（1団体のみのお応募のため）
議事内容	1 応募書類及び面接審査（公開） 欠格事項に該当しないことを応募書類により確認した。また、応募団体の財務状況の確認結果についても問題なし。 応募団体は1団体のみで、プレゼンテーション及び質疑応答による審査を実施。 <b>【主な質疑応答】</b> （委員）「地域の中に拠点を生み出す」とは、どのようなイメージか。 （応募者）地区センターやコミュニティハウスなど、当センター以外の人々が集い連携する場も「拠点」として広げていきたい。 （委員）小中学生以外の「音楽家の育成」についてどのように考えているか。 （応募者）新企画で幅広い年代の若手音楽家の育成に取り組む予定である。 （委員）障がい者、シニア、貧困家庭等へのアプローチは良いことと思うが、どのように対応するつもりか。 （応募者）区の福祉関係の部署に相談して実施する予定である。 （委員）区民参加プログラムでは、選定側に一般区民も入れると良いと思う。 （応募者）今後も区民企画事業を実施していく予定であり、一般の人に「区民企画委員」として、事業の企画などに参加してもらうこととしている。 （委員）天井脱落対策工事期間中は、ホール等が使えないということだけでなく、リハーサル室のほか区内や近隣地域の劇場などでのコンサートでのイベント実施の件などについても積極的な周知をお願いしたい。 ※次ページあり

2 指定候補者の選定について（非公開）

順位	団体名	総合評価(点)
1	東急コミュニティー・神奈川共立・ 横浜市民施設協会 共同事業体	809

(950 点満点中)

【総評】

提案内容は、音楽芸術を通して地域をつなげるというビジョンが明確かつ、非常に期待の持てるコンセプトになっており、是非とも実現して欲しい。当該応募団体は、実績・経験からも5年間の指定管理を任せる団体として適確であると判断できる。第一期の5年間における提案内容と実績に大きな乖離がなく運営できており、利用者やアーティストから使いやすいとの声もあり、支持されている点は評価に値する。芸術文化振興は一朝一夕に実現できるものではなく、5年・10年と地道に、質の高い文化芸術活動の積み上げと普及促進を図っていくことが大事である。これまで行ってきた文化発信の姿勢を継続・発展させながら、新しいビジョンに向かって一歩ずつ着実に踏み出すことを期待したい。地域を「繋げる」フィリアホールとして、施設の外へも拠点を生み出し、地域の絆を「音楽」を通して結び直すという第二期に向けたビジョンも好感が持てる。提案どおり実現できれば、更にステージをあげての施設運営が推進できると期待でき、自治体のサポートも含め、市民とともに文化芸術のコモンズ形成に邁進するフィリアホールの今後の発展を大いに期待したい。なお、財政面は、構成団体のうち一部団体で過去における決算内容に不安定さが見受けられたものの、いずれの構成団体も最新の決算や財務状況は総じて良好である。

3 その他（非公開）

総評に基づき、報告書を青葉区長に提出する。

資 料

- 1 次第
- 2 第2回委員会について
- 3 評点表
- 4 応募書類一式
- 5 報告書（素案）